

初任者紹介

質問項目

- ①担任・教科等
- ②趣味・特技
- ③チャームポイント
- ④新任としての抱負



①英語科②自宅映画鑑賞③よく食べる④スマイル⑤感謝の気持ちを忘れず、子どもたちと共に、笑顔で心を豊かにしていきます。

綾南中学校 東崎 綾



①保健体育科②スポーツ③小麦色の肌④夢は全国制覇日本の宝島天草の名を全国にとどろかせます。ご期待ください。

本渡東中学校 松尾 真一



①美術科②読書③笑顔④生徒の姿や先生方から多くのことを学び、生徒と共に大きく成長していきます。

本渡中学校 中川 幸恵



①社会科②旅行(史跡めぐり・ソフトテニス)③高い声④日々努力し、子どもたちともに成長していきたいです。笑顔忘れず頑張ります。

本渡中学校 川野健太郎



①三年担任②スキー・スノーボード③丸刈り④多くの人々、子どもたちに支えられ、元気をもらっています。頑張ります。

本町小学校 洞口 典寛



①事務職員②音楽鑑賞③高い身長④早く仕事を覚えて、学校の円滑な運営に貢献できるように頑張ります。

本渡東小学校 松尾 由貴



①四年担任②美味しいものを食べる③カラオケ④大きな前歯⑤いつも明るく謙虚さを忘れず、子どもたちと共に成長していきたいです。

本渡北小学校 松本 彩花



①四年担任②旅行・海辺活動③たれ目④先輩方から沢山吸収して、かわいい子どもたちと日々成長していきたいです。

本渡南小学校 小平 希望



①三年担任②バドミントン③スマイル④一日一日を大切に、常に今できることをプラスワンの気持ちで頑張っています。

浦和小学校 梶本 武史



①二年担任②テニス③小さな耳④何事にも一生懸命に、そして指導していただけることに感謝してがんばります。

大楠小学校 山口 由佳



①四年担任②スポーツ・読書③サッカーで鍛えた右足④子どもが夢実現に向けて伸びていけるよう、日々謙虚に学び成長していきたいです。

瀬戸小学校 林 剛太



①三年担任②マラソン③笑顔④元気がいっぱい子どもたちと共に、一歩ずつ前進していけるようがんばります。

佐伊津小学校 濱本 継美



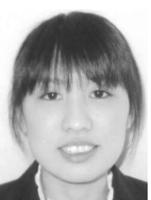
①事務職員②フットサル③小さな手④事務職員として先生方や子どもたちが過しやすい環境づくりを心がけます。

維和小学校 長尾 隆史



①五年担任②整理整頓③笑顔④一日、一日の時間を大切に、子どもたちの姿が輝くよう、私も努力したいです。

登立小学校 城下 美穂



①養護教諭②体を動かすこと③目④謙虚な心と笑顔を忘れず、子どもたちと一緒に心身の健康づくりを頑張ります。

新和小学校 松田みなみ



①四年担任②バスケットボール③笑った時の目④遅咲きの新採ですが、元気はたっぷり！明るく爽やかな笑顔絶やさず頑張ります。

倉岳小学校 熊野 靖久



①四年担任②サッカー③色の黒さ④子どもたちが楽しく学校生活をおくり、喜びと感動が与えられる授業をします。

今津小学校 渡邊 亮太



①四年担任②体を動かすこと③口の周りのホクロ④子どもの笑顔から元気をもらっています。学ぶ姿勢を持ち続けながら頑張ります。

中南小学校 松本 卓士



①養護教諭②ドライブ③笑顔④子どもたちが心も体も元気に登校できるように保健室から健康情報を発信します。

上小学校 後藤香名子



①二年担任②ドライブ③八重歯④子どもたちと一日一日を大切にしながら、共に成長していきたいです。

上小学校 二宮 智子



①事務職員②食べるのが大好きです③親指④早く一人前の事務職員になれるよう、一つ一つの仕事にしっかり取り組みます。

都呂々小学校 都呂々 妙子



①栄養教諭②アウトドア・マリンスポーツ③黒髪④人として自分磨きに努力しながら、様々な人との出会いを大切にしていきたいです。

志岐小学校 富崎 真菜



①栄養教諭②料理③長い髪④常に学び、日々成長できるように、周りの方々に感謝して、一生懸命頑張ります。

龍ヶ岳小学校 龍馬場加奈子



ようこそ天草へ

日本一の 大校門



今津小学校長

塩本 浩一

本校を初めて訪れた時、校舎の正面に構える校門を見てびっくりしました。何と大きな門柱だろう。「後で調べたら、高さ2.54m、幅1.35mもある石

の門柱が二基、ずつりとは構えていました。昭和十年七月一日に完成したそう

で、当時日本一大きい校門であると言われていたそうです。地元の「合津石」は昔から有名で、長崎のオランダ坂や長崎市電の敷石、県立美術館の外壁、県内の石垣塀や張り石等に使用されたとのこと。4.5km離れた採石場から約二十日間、延べ数百人が悪戦苦闘して本校に運ばれた門柱が、私たちを見守っていることを知りました。創立百三十八周年。現在、二百十七名の児童が本校で学習し



「チーム湯島」で 子どもたちを育てよう



湯島小・中学校校長

小原 昌宏

この春の定期異動で、湯島小・中学校兼務として赴任させていただきました。天草には若い時に四年間勤務し、その後地元へ戻ったのですが、「もう一度また

天草の、海の見える学校へ行きたい」と思っており、思いがけず願いが叶った次第です。マスコミ等で度々取り上げられ御存じの方も多いかと思いますが、湯島は三月末の離任の際に島を挙げて見送りの式が行われます。離任する職員は涙で湯島港を出発し、江樋戸港に到着します。そこには今度赴任する職員が待つており、入れ替わりで湯島へと入っていくわけです。そこでは、新旧の職員が短い時間ですが言葉を交わします。その光景はあたたかもサッカーの試合で、ピッチから出る選手と入る選手が互いの手を合わせ、「よく頑張った」「後は頼むぞ」というやりとりをするのと重なって見えたのです。私たちは、そのピッチの中のプレーヤーとして「子どもたちの成長」という共通のゴールに向け、一つのチームとして取り組んでいかなければ、という思いを改めて胸に刻んだ瞬間でした。

「なつやすみ」を 迎える子どもたち



御所浦小学校教頭

吉田 正尚

御所浦町は、「ゆりかごの海」とも言われる穏やかな内海、不知火海に浮かぶ御所浦島、牧島、横浦島の三つの有人島を含む大小十八の島々からなる町です。

古くから漁業の町として栄え、現在も多く島の島民が漁業を生業としています。

御所浦小学校は、御所浦島と牧島の二つの島を校区とし、児童数百七名、職員数十四名(五月一日現在)の中規模の学校です。素朴で、明るく、とても元気がいい子どもたちばかりです。保護者も学校に対して協力的で、いろいろな行事に積極的に参加してくださいます。地域の方々もとても人柄がよく、新参者の私に対して、誰もが優しく挨拶や言葉をかけてくださいます。また、御所浦は「恐竜の島」として化石発掘や地層クルージングなど有名です。船着き場の直ぐ近くの白亜紀資料館では、恐竜をモチーフにしたゆるキャラ「てらのくん」が御所浦を訪れる人々を歓迎しています。

天草に赴任中



龍ヶ岳中学校教頭

中村 恭介

天草と言えば、学生の頃、松島町にある熊大臨海実験所によく来たことを思い出します。当時、実験所には残念なことに先日亡くなられた山口隆男助教授(当時)

